

令和7年度 大学院 修士課程（一般入試）学力検査問題
デザイン・アート実践論

出題意図

1. アート・デザインの社会的意義の理解

アートやデザインの表現を解釈し、新たな文脈で活用できる能力を評価する。

2. 批判的思考と多角的視点

アートやデザインの歴史、理論、実践を踏まえながら、それらを社会課題と結びつけて論じる能力を評価する。

3. 実践的応用力

実践・表現を通じて社会と対峙する力を備えているかを重視しそれを評価する。

4. 基盤的な知識

論理的かつ創造的に構築できるかを評価するため基盤的な知識を備えているかを評価する